

富樫氏と馬

野々市に館を構えた武士の一族が、
馬の絵を描くのが得意だったって本当？



さる吉

守護として室町時代に加賀一帯を治めた富樫氏のことだね。
富樫氏の馬の絵は、今でも多く残っているよ。



さるお

どうして富樫氏は、馬の絵をたくさん描いたの？

そうだね、その理由が、京都のお坊さんと、有
名な画家である長谷川等伯との間で交わされた
お話の中に残っているんだよ（※1）



どんなお話？

これもまた有名な画家・雪舟が絵の修業に加賀へやってきた。
その時、富樫氏の描いた絵をみて、
「一段見事にて、別の物御無用なり」と言ったんだ。

馬の絵がとてもすばらしいから、
他のものを描く必要がないってことだね。

そう。それで、富樫氏は馬の絵一筋になったんだ。
他にも能登の畠山氏に、馬の絵10幅と、その絵と同じ毛並み
の馬を10頭ずつ送ったという逸話ものこっているよ。※2

現在もその馬の絵がいくつか伝わっているんだね。

早速みてみよう！

※1 『等伯図説』（1592年前後）

画家・長谷川等伯（1539～1610）が画家や鑑賞方式などについて語ったことを、京都
本法寺の日通上人（1551～1608）が記録した書物。

※2 上述の等伯の逸話から推定すると、この富樫氏は泰高と考えられる。